

課題研究 評価チェックシート

(1) 次のA~Gの項目について、あなたが現在到達していると考える段階を1から「○」をつけてください。(レベル5は到達達成度が高い)

年 組 氏名:

レベル			1	2	3	4	5
基本姿勢	A	主体性 自発的・計画的な実行力・向上心	指示を受けながら作業できる。	指示を待たず、自発的に責任を持って作業ができる。	全体にとって必要な作業や課題を理解し、スケジュールを意識して時間管理を行える。	全体のスケジュールを意識して、時間管理を行うことができる。チームのメンバーの作業の状況を把握している。	全体のスケジュールを意識しながら、より良いものにして最後まで諦めずに活動している。チームの進捗状況を管理できる。
	B	問題発見力 問題を発見する力	自己の生活や社会について考えたことがある。	自己の生活や身近な環境について改善した方がいいと考えていることがある。	地域や社会において、与えられたものではなく、自ら解決したいと思う課題を何か見つけている。	地域や社会において、未来に向けて改善・改革すべきことを見つけている。また、そうなっている原因を追究しようとしている。	未来に向けて改善すべき課題を見つけ、原因を追究するうちに新たな疑問を見つけることができる。
	C	問題解決力 問題を解決する力	他者から与えられた課題について考えている。	日常の中で、自分の目の前にある課題について考えている。	課題の原因や背景を考え、解決するプロセスを提案することができる。	原因を追究し解決する様々なプロセスを検討し、一つ以上の解決策を提案することができる。	原因追究に基づいて解決策を提案し、実行可能性や解決のめりットやデメリットについて幅広く考えている。
問題解決力	D	創造力 新しいアイデア力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の様々な意見・アイデアを活用しようとしている。	自ら求めて得られたいくつかの意見やアイデアや方法・計画をうまくまとめて、自分なりのアイデアを作り出そうとしている。	独創的なアイデアや計画を創造し、周囲に分かりやすく伝えることができる。	独創的かつ、まだだれもやっていないアイデアで、多くの人に影響をあたえられる計画を立て実現しようとしている。
	E	プレゼンテーション力 話す・表現に関わる力	発表の際、原稿を読んで伝えている。	発表の際、聞き手の目を見ながら伝える、ほかのチームの発表に率直な意見を言うことができる。	相手の反応を見ながら、適切な言葉づかいで自分の意見を伝えることができる。ほかのチームの発言に対し、根拠のある感想を言うことができる。	適切な言葉使いで説得力のあるプレゼンになっており、質問にも答えることができる。ほかのチームの発表に対し、根拠のある批評をいうことができる。	ジェスチャーや声の表現などによって、内容を伝え、聞き手の質問に対して、受け答えができる。ほかのチームの発表を批評し、納得させることができる。
	F	チームワーク力 仲間との共同による創造力	身近に助けを求め、かつ身近なメンバーの支援もできる。	課題解決に向けて自分のやる気を示したり、他者の提案を受け入れたりしている。	課題解決に向けて行動計画を示し、他者の提案を受け入れながら、メンバーに対して、肯定的な話し方や表現ができる。	課題解決に向けて、新たな提案や代表的な考えを示し、モチベーションを上げて前進するよう働きかけている。	チームで課題解決した成果に手ごたえが持てる。また、メンバーがその課題を完成させるのを率先してサポートしている。
実践力	G	コミュニケーション力 他者と人間関係形成をして問題を解決する力	人々の話を聞くことができる。	人の話を聞き、メモを取ったり質問したりすることができる。	人の話を聞き、自分なりの問題意識を持つことができる。	自分から働き掛け、疑問や課題を解決しようとしている。	両者に利益のある関係を構築しようとしている。

図 12 評価用ルーブリック (機械系課題研究)